

# イー・ウーマン調査

## 「ニュースの見方」に関する調査

株式会社 イー・ウーマン  
<http://www.ewoman.co.jp/>

2008年も残り1ヶ月強となった今、本年を振り返って、心に残っているニュースはあるか？ そのニュースを活かして、何か行動を起こしたか？ 今回は、「ニュースの見方」に関する調査と題して、リーダーズに問い合わせた。毎日、耳ににするニュースの数々をどのように捉え、どのように学んでいるか、具体的な回答を433名のリーダーズから得た。

### ■ ニュースを調べる…… グラフ1

ニュースを見た（知った）後に興味を持って、詳細を調べたことがあるか、と聞いたところ、57.5%があると回答し、半数以上が、あるニュースについて、詳細を調べていることが分かる。何を調べたか、なぜ調べたかというコメントを見ると、「社会的に反響の大きい事件や事故が起きた際、それが発生した背景を知りたい」と思い調べる」といった回答がある。例えば、「法律案の国会提出のニュースを知って、省庁・国会のホームページで概要と実際の改正条文を調べた、ニュースでは、報道する側が伝えたい部分がフォーカスされるし、表現もキャッチが優先され主観的になる傾向があるので、実務に必要な正確な情報、全体像をつかむには原典に当たる必要がある」というように、そのニュースについて知りたいという知識欲を満たすために、インターネットや携帯のキーワード検索で自分なりに詳細を調べている。

### ■ ニュースを「話題」に …… グラフ2

家族や友人、知人と、ニュースを話題にしているか聞くと、ほぼ9割近い89.8%が話題にしていると回答した。最近話題にした具体的な内容を見ると、「定額給付金」「食品偽装」「医療関連問題」など生活に身近な話題や、「アメリカ大統領選挙」「地球温暖化」「ドル安」など世界的な影響のある内容。その他、「田母神前航空幕僚長の論文問題」「無差別殺人事件」など、複雑な背景や、その登場人物の心境について、話題は多種多様である。

### ■ 異なる視点 …… グラフ3

ニュースには色々な見方がある。その「ニュースを題材にして、自分と異なる意見のある人とディスカッションしたことがあるか」を聞いたところ、33.3%が「ある」と回答した。どのようなニュースについてディスカッションしたかを聞くと、例えば、「格差社会について、格差があつて当たり前、という意見と、万人平等という意見の人間が平行線をたどった」「医療関係者と非医療関係者とで交流会があった時に、救急車たらい回しについて意見がわかれた。たらい回しがなくならない現状に憤りを感じるという立場と、人手と施設に限界がある限り難しい問題でありスタッフの怠慢ではない、という立場、双方の意見交換がされた」とある。仕事の内容、性別や年齢、経験など、個人個人の異なる立場から、異なる意見があることが自然と考えると、それぞれの意見に耳を傾け、改めて自分の意見を考え直すということが、そのニュースやテーマの内容をより理解することに繋がると考えられる。

### ■ あのニュースのその後 …… グラフ4

「報道されなくなった過去のニュースで「その後」が気になっているものはあるか」を聞いたところ、68.1%が気になっているニュースがあると回答した。具体的なコメントを見ると「未解決の殺人事件（特に犯人特定のされているもの）」「災害被災者のその後」など、「報道当時は、かなり大きく報道されていたことも、「その後」はニュースにならぬことが多い、気になることは限りなくある」という意見が多く見られた。

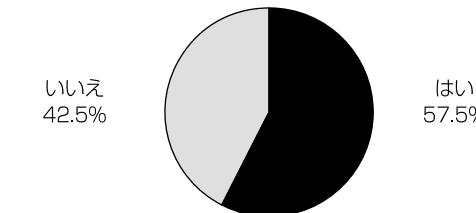
### ■ 今年一番「考えた」ニュース

2008年を振り返って、今年一番「考えた」ニュースの内容について聞いた。「無差別殺人などの多さに、命の大切さの無知さをしり、これからのお子さんたちに命のことを教えていかなければならぬ事を思った」「日本の総理大臣の交代が、世界では大した扱いがないことがわかり、世界における日本、日本の報道のあり方について考えた」「世界の金融危機をきっかけに、勉強、投資、節約などのバランスを考えたお金の使い方を模索するようになった」など、具体的なコメントが並んだ。興味関心は人それぞれ異なるが、リーダーズの傾向として、その報道を受けて、何を考え、何を自分の生活に活かすか、ということが意識されていることが見える。

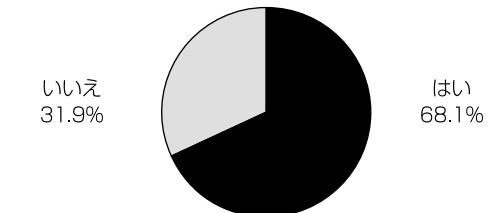
### ■ インターネットを駆使して …… グラフ5 グラフ6

ニュースの見方、として、現在は様々なところで情報の入手が可能である。「ニュースはどうやってみているか」を聞くと、最も多い回答が「インターネット」で81.1%、次にテレビが79.4%と続く。インターネットの検索を最大限に活用すれば、ニュースの背景を調べることや、「自分と異なる意見」を見て考え直すとすることが容易になっている今、リーダーズは、そのメリットをいかして、「ニュースをきっかけに、調べ、考え、理解し、自分の意見を述べる」ということにチャレンジしている。ニュース@イー・ウーマンでも、女性が選ぶトップニュースや、円卓会議を通して、異なる視点や意見の分かち合いの場を引き続き作っていくと思う。

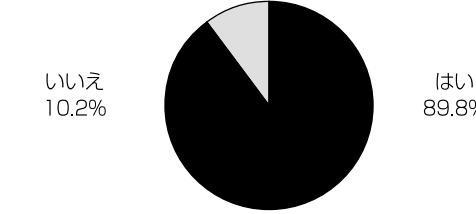
グラフ1 ニュースを見た（知った）後に興味を持って、詳細を調べたことはありますか？



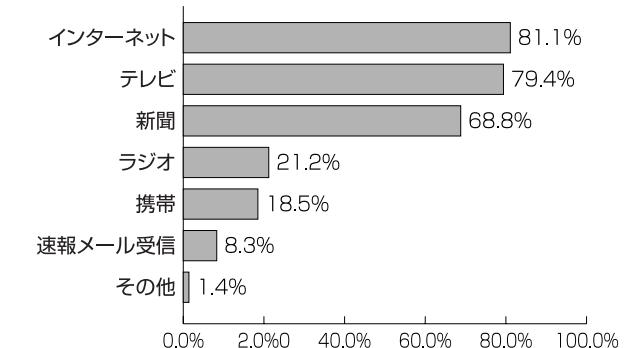
グラフ4 報道されなくなった過去のニュースで「その後」が気になっているものはありますか？



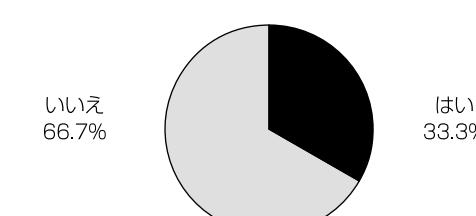
グラフ2 家族や友人、知人と、ニュースを話題にしていますか？



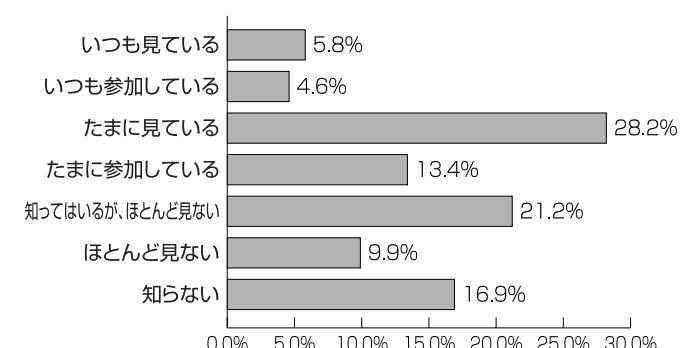
グラフ5 ニュースは、どうやってみていますか？



グラフ3 ニュースを題材に、自分と意見の異なる人とディスカッションしたことがありますか？



グラフ6 「働く女性が選ぶ、今日のトップニュース」、知っていますか？



### <調査概要>

調査実施:2008年11月13日(木)～11月18日(火)

調査方法:インターネットによる自記入式アンケート

対象:イー・ウーマンリーダーズ

有効回答数:433名

### LEADERS DATA

